

## スマートフォン等からの機密情報漏洩やデータ改ざんを防止

### 業務用モバイル端末向けサイバー攻撃対策ソフト“zMTD”の取扱いを開始

#### ～米国 Zimperium, Inc.と代理店契約締結・資本参加を実施～

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区／社長：五味 勝、以下 東陽テクニカ）は、モバイル端末用サイバー攻撃対策ソリューションを開発・提供する米国 Zimperium, Inc.（以下、Zimperium 社）とモバイル・サイバー・セキュリティ事業の強化を目指した戦略的パートナーシップを確立し、国内での同ソリューションの正式販売を開始いたしました。

#### 【 背景／目的 】

企業等が保有する機密情報や個人情報を狙うマルウェア<sup>※1</sup>やサイバー攻撃が急増する中、スマートフォン等のモバイル端末が普及し、その業務利用が一般化することに伴い、業務用モバイル端末が標的となる危険性が高まっております。こうした脅威に対して、現状のアンチウイルスソフトによる対策のみでは、マルウェアの侵入に伴う外部からのリモート制御や、情報の窃取及びデータ改ざん等の不正動作を防御するのは極めて困難と言えます。

こうした状況を踏まえ、実ネットワークの解析・監視システムや情報セキュリティテスト機器等、幅広いソリューションをお客様に提供し、情報通信の高度化をサポートしている東陽テクニカは、モバイル端末へのマルウェアの侵入を未然に防ぐ「不正侵入防止機能（IPS：Intrusion Prevention System）」を備えた Zimperium 社のセキュリティツールを国内に提供するため、2014年10月31日付で国内総代理店契約を締結いたしました。更に、強固な協力関係を構築すべく、2015年2月18日には同社に対し100万米ドル（約1.2億円<sup>※2</sup>）を出資いたしました。これにより、東陽テクニカの情報セキュリティソリューション群に新たなラインナップが加わることとなります。

東陽テクニカでは、モバイル端末及び通信サービスを提供する通信事業者や端末製造業者、更にはモバイル端末の業務利用を推進する官公庁や企業に対して、モバイルセキュリティツール“zMTD”を積極的に提供し、モバイル通信の安全性確保に貢献してまいります。

※1 コンピュータウイルスやスパイウェア等の有害で悪意を持ったプログラムの総称。

※2 1米ドル＝119円として換算。

## 【 モバイルセキュリティツール “zMTD” の特長 】

今回販売を開始する“zMTD”は、モバイル端末への攻撃トラフィック受信或いはモバイル端末内部からの異常発信を検出し、即座に端末外部との通信を切断する機能を備えたセキュリティソフトです。

iOS 及び Android の OS を搭載するスマートフォン等、各種モバイル端末にインストールすることで同端末の通信を常にモニターし、あらゆるセキュリティ問題を検知することができます。又、異常な通信やモバイル端末の振る舞いを検出し防御する仕組みのため、いわゆる「ゼロデイ攻撃<sup>※3</sup>」にも対応しています。

※3 OS やアプリケーションソフトウェアのセキュリティ上の脆弱性（＝セキュリティホール）が発見された際、修正プログラムが配布される以前にその脆弱性を悪用して行われる攻撃。

## 【 製品データ 】

製品名 : zMTD ( Zimperium Mobile Threat Defense )

製品標準価格 : 1 ライセンス 12,000 円／年～（税別）

受注目標 : 初年度 1 億円、次年度 2.5 億円

製品イメージ画像 :



## 【 Zimperium 社について 】

2013 年 8 月に設立された Zimperium 社は、米国カリフォルニア州に本社、イスラエル国テルアビブに製品開発拠点を構えるソフトウェアメーカーです。2013 年には、イスラエル国の優れた新興企業を表彰する「2013 Start-up of the year」において最優秀賞を獲得する等、モバイル・サイバー・セキュリティに関する先進的なソリューションを開発・提供している有力企業です。

【 お問い合わせ 】

株式会社東陽テクニカ

情報通信システム営業部 北山 / 経営企画室 田中

TEL : 03-3279-0771 e-mail : CyberSec-PJ@toyo.co.jp

本リリースに記載された情報は発表日現在のものです。

記載された会社名及び製品名等は、該当する企業の商標または登録商標です。